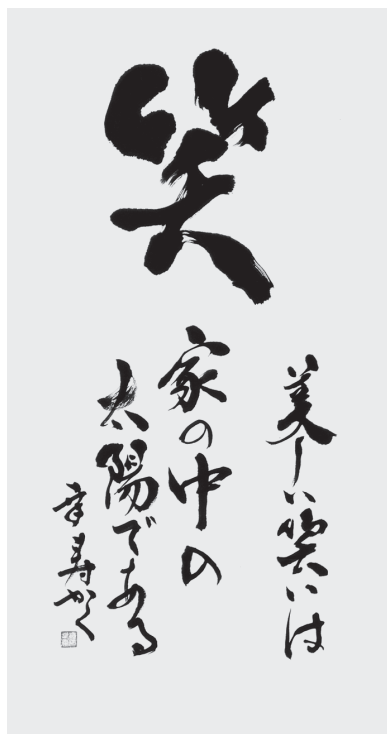


二科・三科参考手本（半切2分の1サイズ用）

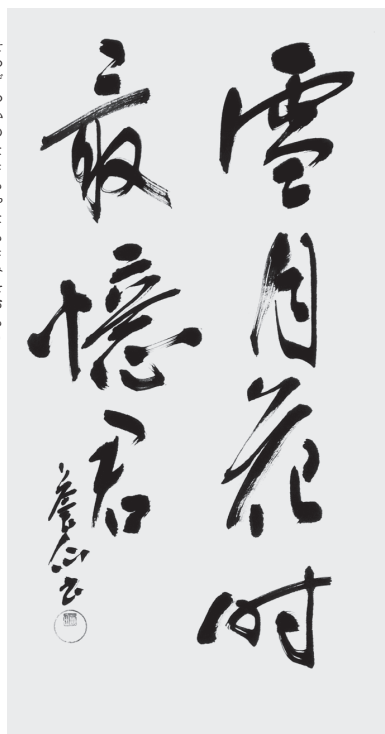
▶二科・三科は、半切2分の1サイズまたは半切のどちらかで出品して下さい。課題は自由ですが、半切2分の1サイズを選択した場合、下掲の参考手本によりご出品いただくこともできます。

美しい笑いは家の中の太陽である



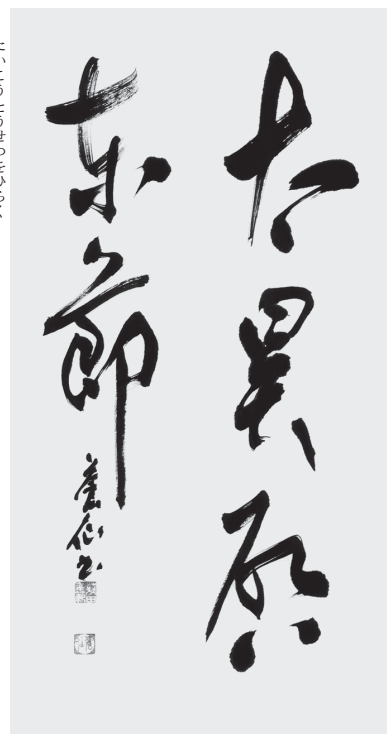
澤 幸 寿 書

せつげつかのときもつともきみをおもう
雪月花時 最憶君



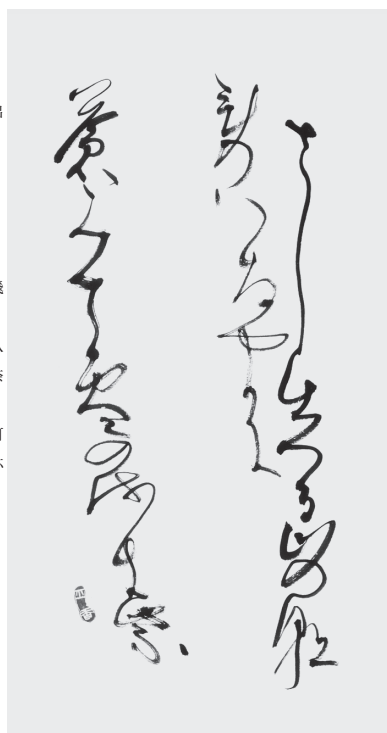
荻 田 蒼 仙 書

たいこうとうせつをひらく
太昊啓東節



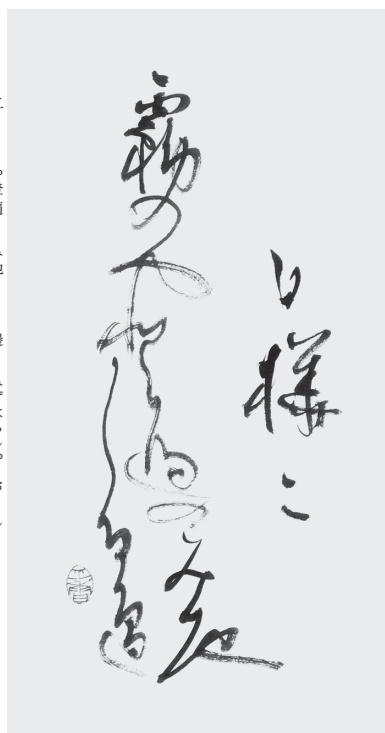
荻 田 蒼 仙 書

さしいづる山の朝日はなやかに
蒼みて雪のあさきむらさき
(太田水穂)



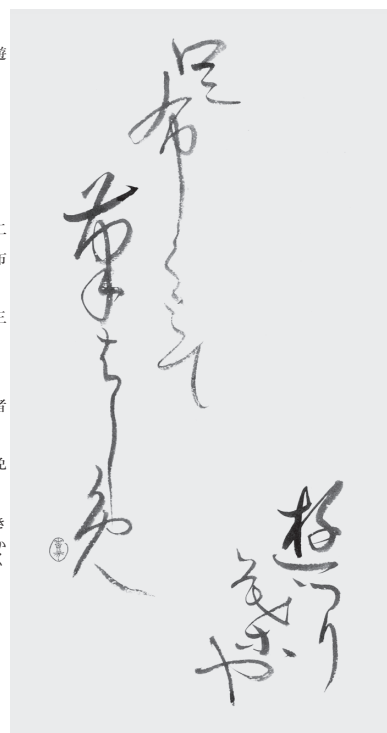
築 瀬 舟 香 書

白樺に霧の宿への道しるべ
(水原秋桜子)



築 瀬 舟 香 書

遊ゆづり葉や口にふくみて筆はじめ
(其角)



田 中 貴 光 書

憲照先生の手本ア・ラ・カルト(13)
(à la carte)

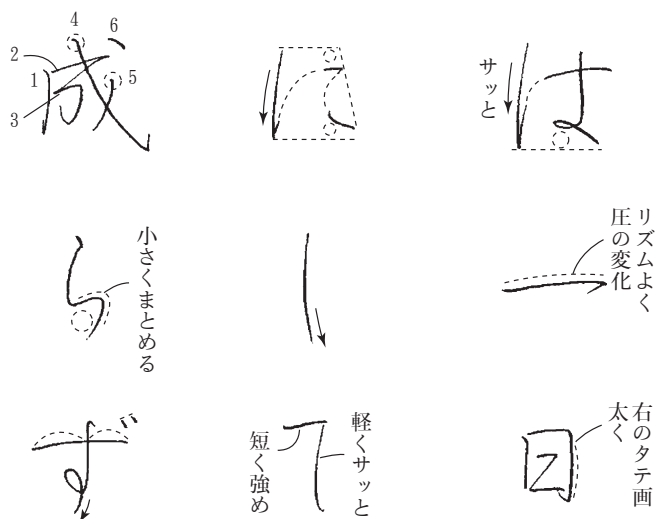
締切り 一月二十四日(必着)

昭和58年4月

	一	口
	日	丨
	に	マ
	丨	は
セル	て	
バン	成	
テス	ら	
丨	ず	

つけペン・墨汁使用

〔解説〕



- ◎ 本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。まだまだ世の中は、新型コロナウイルス禍の影響で、世界中が不安の中にいます。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。
- ◎ 今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。
- ◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。
- ◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★ローマは…(書体Ⅱ行書)

セルバンテス

(五四七・二六・スペイン、小説家)

セルバンテスの名著「ドン・キホーテ」に出ている名言。ローマ帝国の首都ローマは、当時世界第一の大都会であったが、あのような大都会は、わずかの年月で、できるものではない。長い間の歴史と、住民の努力の結果として成就されたものである。すべて大きな事業は、長い期間の努力なくしては完成するものではないというのである。

〔作品の出し方〕

- ▼ 今回も硬筆部だけに限ります。全員本会級位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
- ▼ 用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
- ▼ 出品制限の対象とはなりません。
- ▼ 事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
- ※ 不明な点は無記入でも結構です。
- ▼ 優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
- ▼ 月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

一般部規定課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

大^{のびよく}渉^{軽く止める}知^{下を少し長く}者^{下を長く}誠^{下を短く}実^{下を短く}に^{下を短く}な^{下を短く}

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

大切な交渉は
知恵ある者より
誠実な者にあたらせよ

あら い りゅう ほう 書
新 井 龍 峰

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

験^{だんだん小さく}自^{スツと}対^{スツと}馬^{スツと}名^{スツと}

与	自	経
え	分	験
る	の	と
名	誤	は
前	り	人
で	に	が
あ	対	
る	し	

ふる た ずい えん 書
古 田 瑞 苑

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★経験とは：（書体Ⅱ楷書）

オスカー・ワイルド

（一八五四～一九〇〇）

詩人・作家・劇作家

経験が豊富だということは、つまり失敗も多いということですが、その失敗が必ずしも本人を賢明にしているとは限りません。

人間が賢くなるのは、経験によるのではなく、経験に対処する能力に応じてであると作家は言っています。

◆2月課題予告（行書）

人生に

意味あるは則ち

熱意あるが故なり

★大切な：（書体Ⅱ行書）

勝海舟（一八二三～一八九九）

江戸末期の幕臣・明治期の政治家

江戸城開城時の交渉は、実に骨だったと海舟は言っています。

当時、江戸市中は、いまにも官軍が乗り込むと言って大騒ぎでしたが、海舟は他の官軍には頓着せず、眼中には私利私欲の感じられない西郷隆盛ただ一人しかありませんでした。

◆2月課題予告（行草または草書）

物事には

納得できる矛盾と

できない矛盾がある

▼教範・書範Ⅱ行書

▼師範Ⅱ楷書

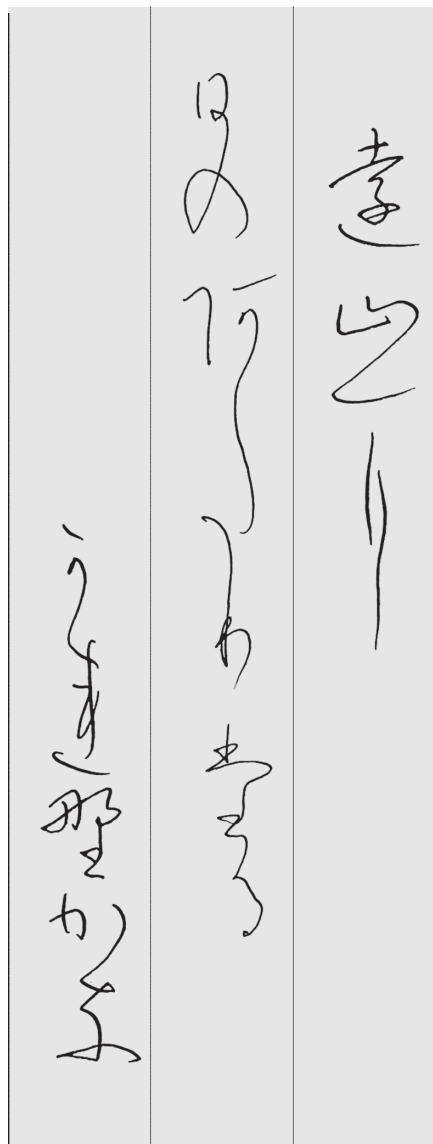
一般部かな課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

遠山に日の当りたる枯野かな

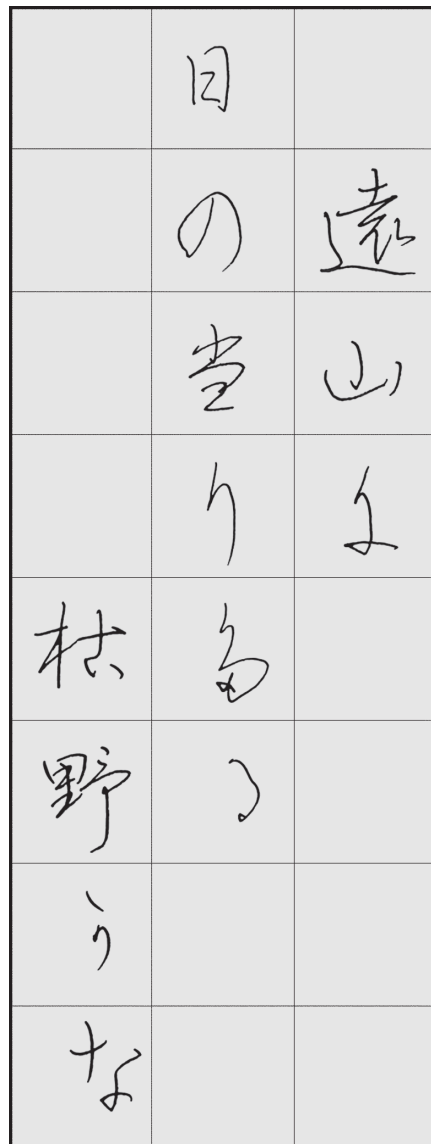


田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

遠山に日の当りたる枯野かな



田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

〔古筆参考〕

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

遠山に日の当りたる枯野かな

(白田亜浪)

遠山に日の当りたる枯野かな

(高浜虚子)

〔句解〕日のかげった枯れ野を歩いて行くと、行く手の遠くに見える山の頂にぼっかりと日が当たった。

〔鑑賞〕明治三十三年十一月二十五日、虚子庵例会での作。時に虚子二十六歳。虚子は自己の代表句として多くこれを揮毫している。二十六歳にしてこの鉤脈を堀り当てたのは虚子の幸福であった。枯淡静寂のうちにほのかに暖かみのある、虚子その人らしい句である。

◆2月課題予告

木曾路ゆく我も旅人散る木の葉

(白田亜浪)

締切り 1 月 24 日(必着)

新春とはいえ厳しい寒さが続く毎日ですが、いかがお過ごしですか。今年、車免許の取得しようとして、正月から張り切っています。コロナが収束したら、ドライブにお誘いしますので、断らないで下さいね。

※手本は水性ボールペン使用

新春とはいえ、厳しい寒さが続く毎日ですが、いかがお過ごしですか。今年、車免許の取得しようとして、正月から張り切っています。コロナが収束したら、ドライブにお誘いしますので、断らないで下さいね。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

沿岸回遊魚で温帯にすむ「ぶり」は
生長に伴い名のかわる出世魚です。

福井県小浜市 氏 名

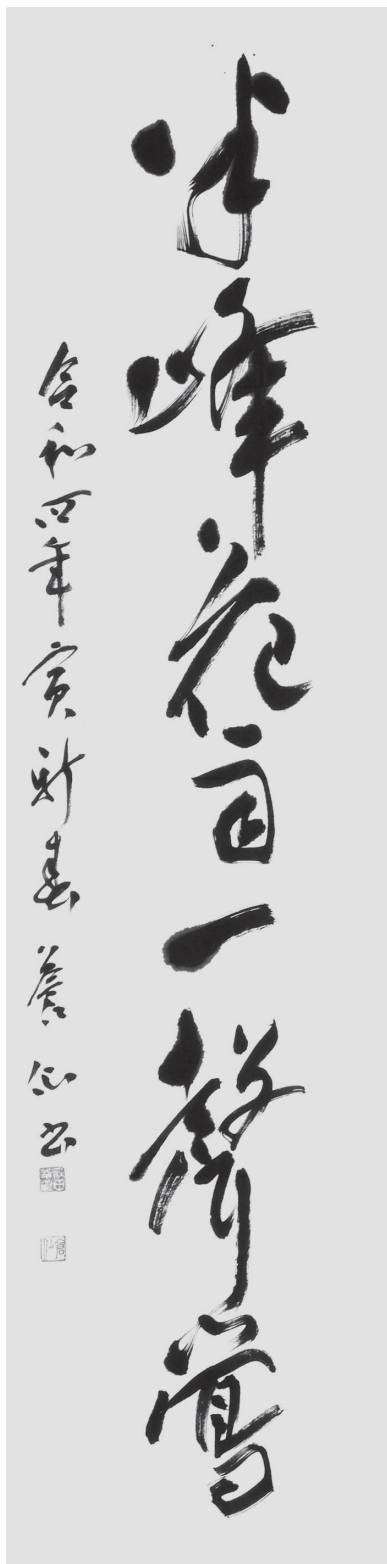
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 一月二十四日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



はんぼうのかういっせいのうけいす
半峰花雨一聲鶯

〔大意〕峰半分に降りそそぐ花の雨、そこに鶯の声が聞こえた。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

ご家族お揃いでよきお年を迎え
られたこと、存じます 玄関先に
健気に咲いている福寿草の花を
見つけ思わず嬉しくなりました

高木久江

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

〔条幅解説〕

新年号、少し緊張したので、ホイホイと声を出して筆を運ぶと気楽に書けました。潤濁と直と曲を少し意識しました。

「一本の線はその人の人間の深さに依る」

そんな言葉は私にはイタイ！

ご家族お揃いでよきお年を迎えられたこと、存じます 玄関先に健気に咲いている福寿草の花を見つけ思わず嬉しくなりました

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。

- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

澤 幸
書

萬物生 光輝

ばんぶつこうきしょうす
萬物生光輝

〔大意〕春になって何もかも多くの物がひかりを発輝した。

〔解説〕

萬物

生光

輝

◆2月課題予告(行書)

瑞氣満
梅花

準初段から師範まで

属聖暮
凝心大

須田一葉臨

属
聖
謨
凝
心
大

属聖暮凝心大

〔解説〕

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）
〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）
〔読み〕聖謨を（眇）属し、大（道）に（凝）心すれば、

属 聖
暮 凝
心 大

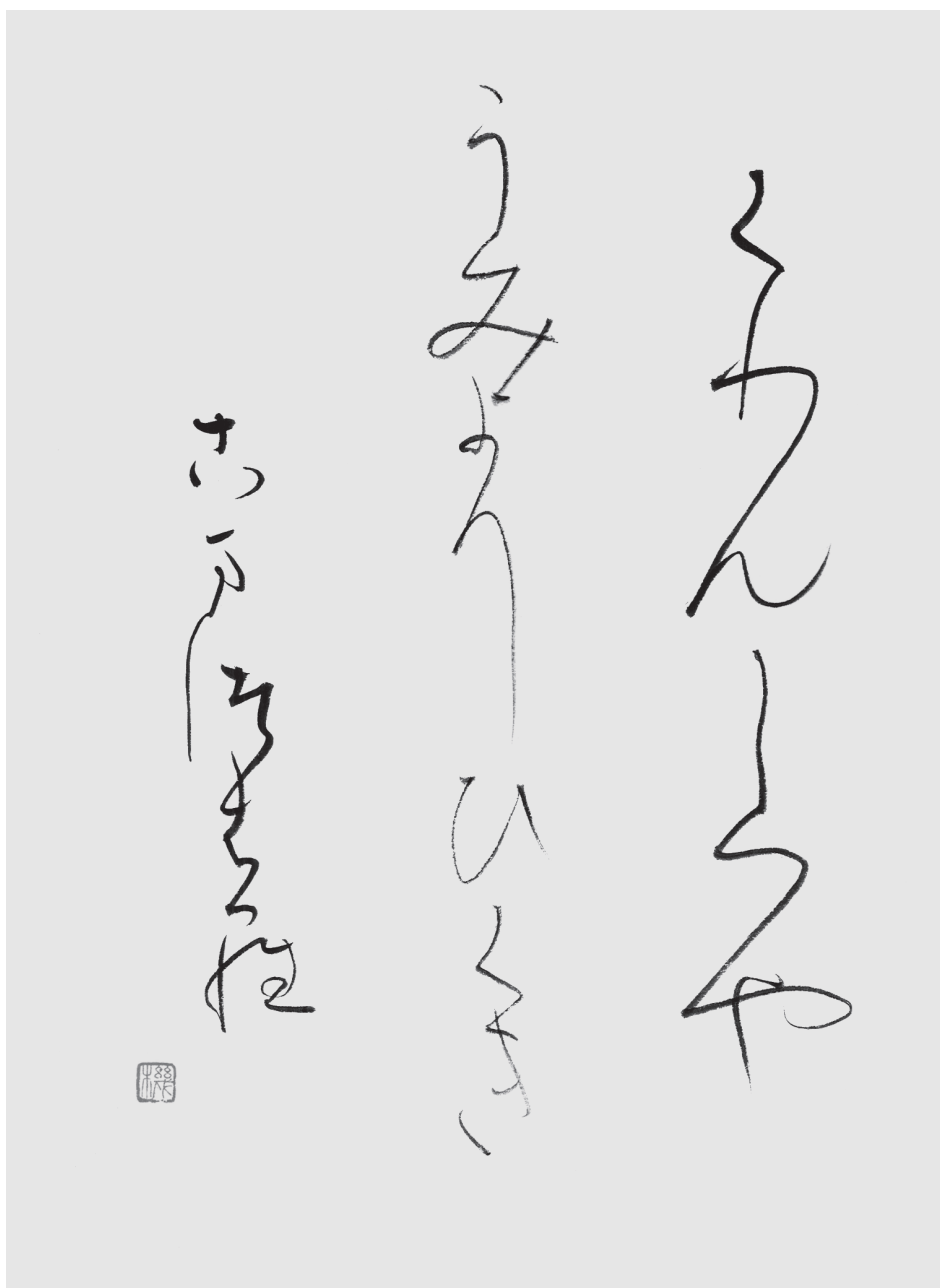
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆2月課題予告

来書謀
承襲蹟

新入から1級まで

浅井機山先生書



元日や海よりひくき小松原

久保田万太郎

〔句意〕

高所より海を眺望しての句である。前面に松並木の緑を配し、その上に海を置く。明るい穏やかな元旦の景である。

◆2月課題予告

かたまつて薄き光の菫かな

〔解説〕

575で、右2行は平仮名、最後の行の5字は変体仮名です。

平仮名は、「平安初期、漢字の草体から作られた草の仮名をさらにくずして作った音節文字。女性も用いたので女手と呼ばれ、はじめは種々の異体があった。「ひらがな」の称は後世のもの。」変体仮名は「現在普通に使用されている平かな（1990年小学校令施行規則で採用）と違う字源またはくずし方のかな」（共に『広辞苑』）

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「くわんしつや」

突いて（蔵鋒）「く」を書き、終わって毛先を立て、すぐ「わ」の第1画に入ります。横線は、角でしっかり当たって毛先を立て、ユックリ、ハヤク、そしてユックリ回り、回り切ったら、「ん」の斜めの直線をハヤク、トンと角まで一気に書きます。次の線をうまく書けない人は、そこで紙面から筆を上げ、空中で筆を180度回転させて（持ち直す）毛先が紙面に垂直）になりますから、角に毛先を持っていき、書き進めます。「し」は、釣り針のような形にせず、少し揺らしただけの形にしました。「つ」も、「わん」と似ています。

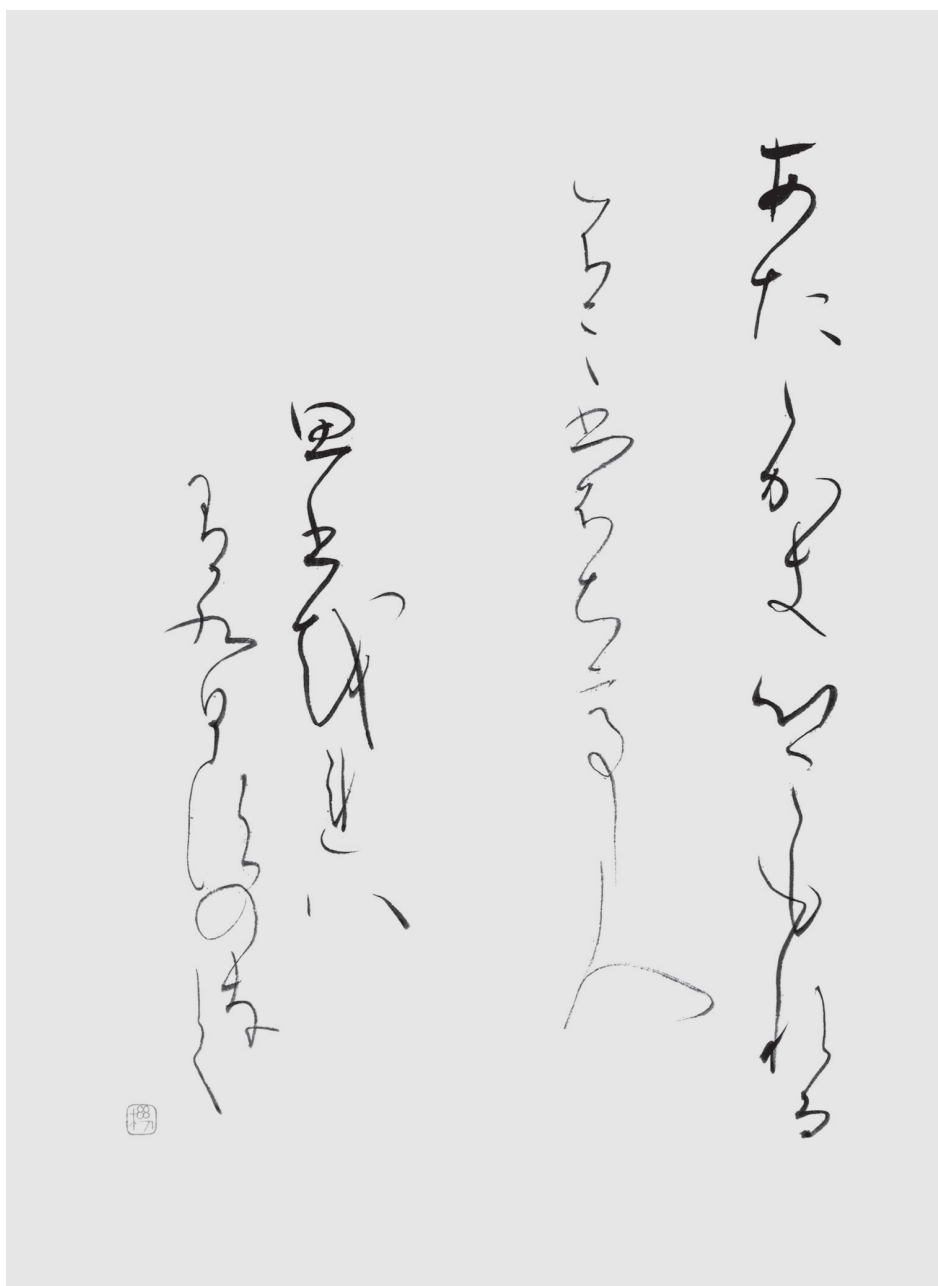
「うみよりひくき」

「古万徒者羅」

2行とも（直線ハヤイ、曲線オソイ、角トメル）のリズムに乗って、のびのびと書いて下さい。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



あたにかき心^支こもれる^{不三}ふみ^袋持ち^亭て
人^悲思^越ひ^連居^{八有九日須}れば^{奈久}鶯^久のなく

〔歌意〕

あたにかい心のこもった手紙を手にして、この手紙をくださった人のことを思っていると、折しも鶯の鳴く音が聞こえたことだ。

◆2月課題予告

霞立つ春の山辺は遠けれど
吹き来る風は花の香ぞする

伊藤左千夫

〔解説〕

料紙は、薄い楮紙にドーサを引き、金の砂子を蒔いて、出来上がった20枚ほどにあいさ紙をして、〈打ち紙〉として平滑にしたもの。あい(間)さ紙は濡らして、20枚の料紙が乾くまで杵で叩き続けるのです。平安時代には、打ち紙をしてかな書の料紙を作っていました。だから毛先1本の鋭い線が書けたのです。

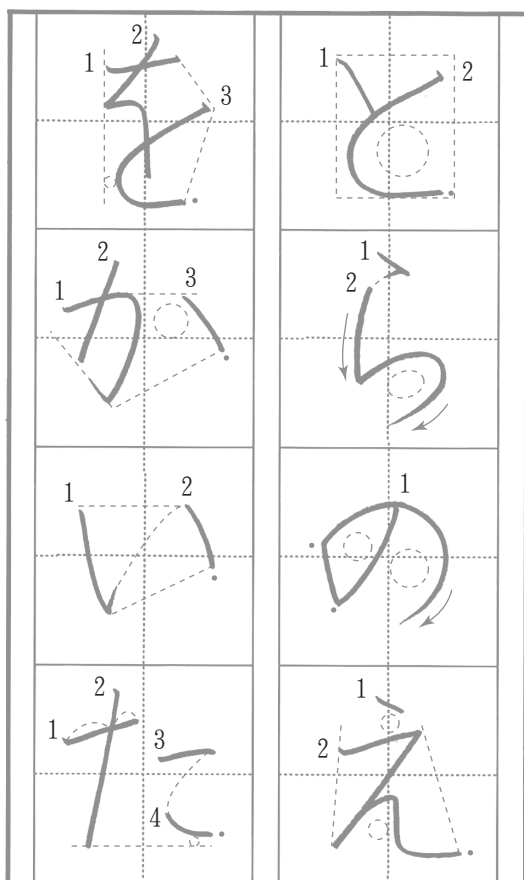
さて、全体を見ていきましょう。

右2行は、ゆったり行間をあけて、のびのびと書いています。左2行は、行間を狭くして動きも小さく書いています。

では、1行ずつ見ていきましょう。たっぷり含墨して、ゆっくり書き出します。このゆっくりが第2行の「不三」まで続いて、「裳」からはスピードを上げて「亭」のタテ線を書いて一呼吸し、すばやく筆を持ち直して、上の流れを受けて左下に流し、右へ大きく振ってバランスを取りながら、左と下の余白を征服するように「人」を書き終えます。

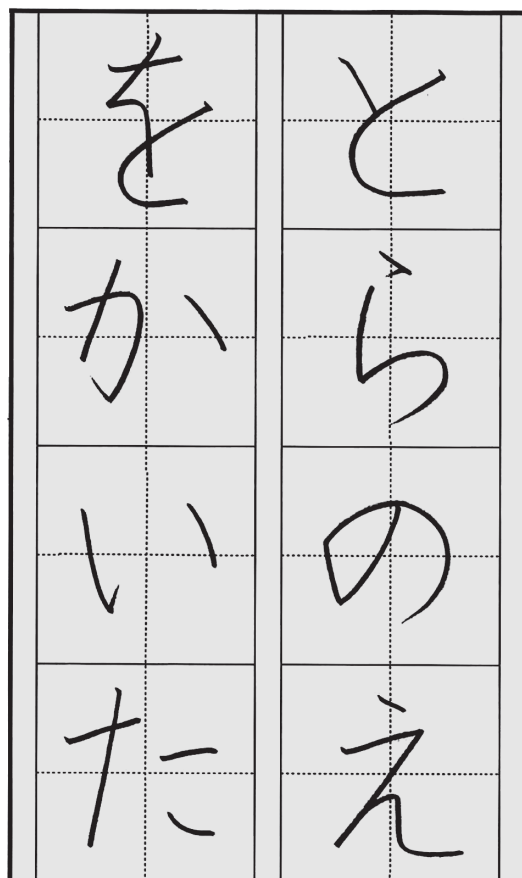
右2行を見ながら、おもむろにたっぷり含墨してから、反故紙でちょっとぬぐって、さらに右2行を見ながら、行間をとって、「思」の第1画を振り下ろします。ややハヤさを増しながら「悲越」を書き、「連八」は放ち書きして余白を取り入れ、次の行は動きを小さくして、「奈久」は全体をながめてバランスと、安定と、しめくくりがしっかり出来るよう慎重に書き終えます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



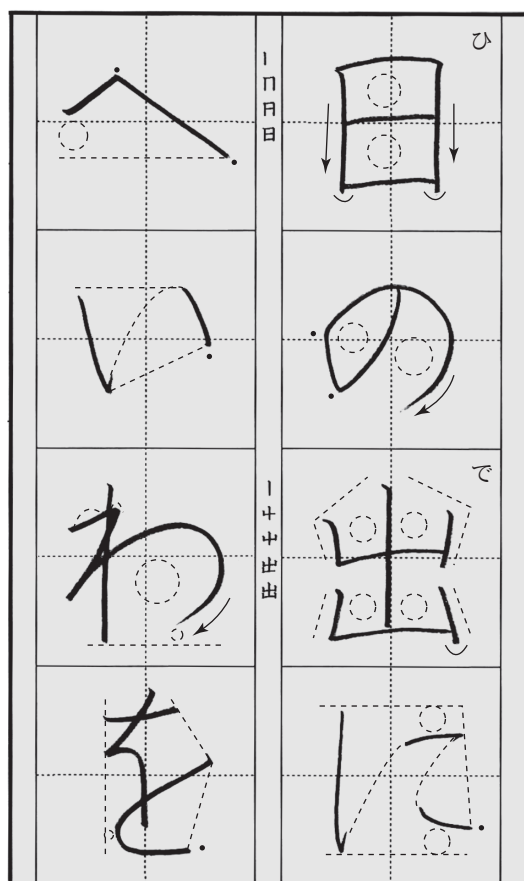
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



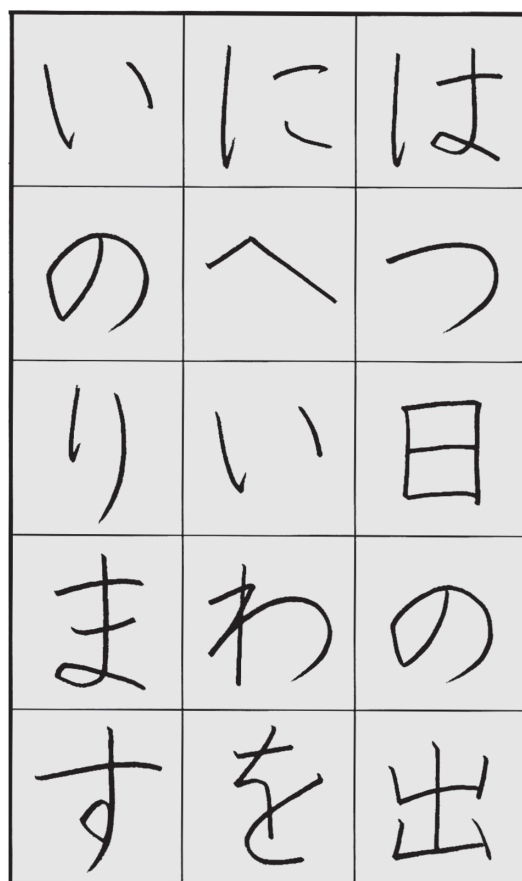
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

買	花
つ	も
た	ち
よ	を

新入〜1級

で	も	赤
買	ち	と
つ	を	白
た	お	の
よ	店	花

準初段以上

小二年

準初段以上

の	思
気	い
持	や
ち	り

新入〜1級

け	気	思
合	持	い
い	ち	や
の	と	り
心	助	の

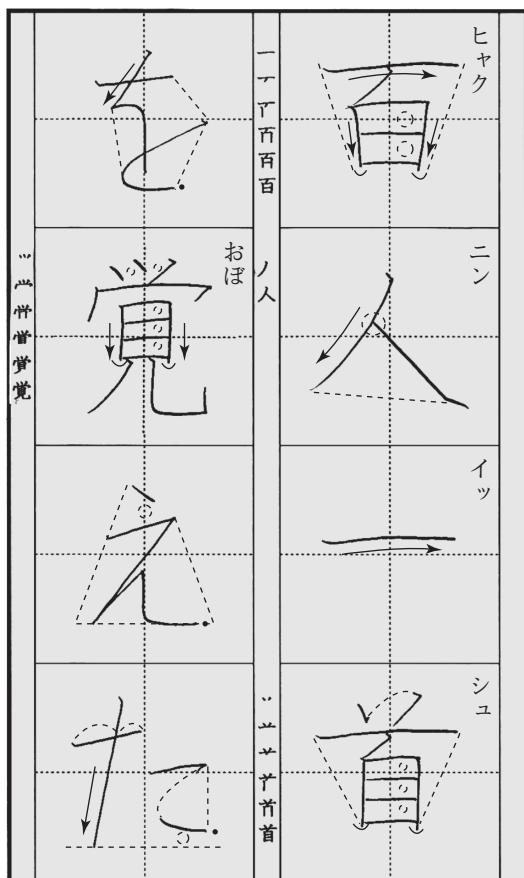
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

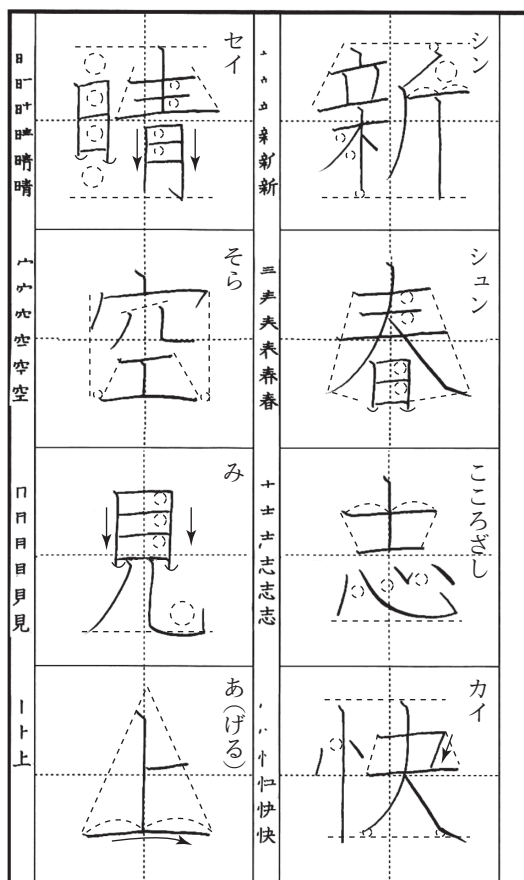


新入〜1級

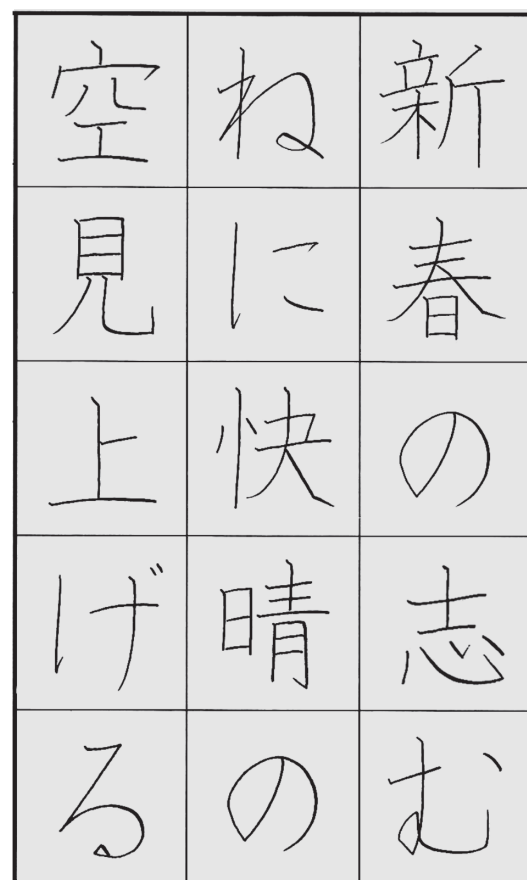


小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)



小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 岡嶋桂川書

解説(よく見て習いましょう)

ボウ	将	シヨウ
一ヨオヲヲ将将		
むね	来	ライ
一ロコ五平来来		
あさ	夢	ゆめ
一ヨオヨ夢夢		
	希	キ
一メダヲ希希		

用具 自由(黒色に限る)

む	希	将
か	望	来
え	を	の
た	胸	夢
朝	に	や

小六年 (全員)

中二・三年 (行書)

致	を	理
団	目	想
結	指	の
す	し	実
る	一	現

中一年 (楷書)

輝	性	様
く	を	々
未	秘	な
来	め	可
へ	た	能

▼小三年以下の課題

た なか あい こう
田 中 愛 紅 書

行 ^い	は	神 ^{じん}	近 ^{ちか}	正 ^{しょう}
き	つ	社 ^{しゃ}	く	月 ^{がつ}
ま	も	へ	に	は
す	う		あ	
	で		る	
	に			



◎お手本はえんぴつ使用



こどもの ひろば

しめきり 1月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

たか はら ひ すい
高 原 飛 水 書

お	明 ^あ	新 ^{しん}	家 ^か	元 ^{がん}
め	け	年 ^{ねん}	族 ^{ぞく}	旦 ^{たん}
で	ま	の	揃 ^{そろ}	の
と	し	あ	っ	朝 ^{あさ}
う	て	い	て	
		さ		
		つ		



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

よ う 年

小
二
花
も
ち

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

小
一
へ
い
わ

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

さい
と
ら

さか い とも こ
酒 井 智 仔 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小 五 年

小 四 年

小 三 年

小五 新春の空

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

小四 百人一首

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

小三 思いやり

みず の へき ゆう
水 野 碧 友 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

中二・三年

中 一 年

小 六 年

理想の実現

中二・三

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

輝く未来へ

中一

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

希望の朝

小六

たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。